けんこう静岡

第99号
平成21年
（2009年）
10月1日（木）
季刊　1部50円　年200円
（送料税込）

発行所
財団法人 静岡県予防医学協会
（本　部）〒421－1292　静岡市葵区建穂1－3－43
☎（054）278－7716　FAX（054）278－7717
http://www.shsa.net
（東部事務所）　〒410－0059 沼津市若葉町1－16　☎(055)921－1934
（西部検査所）　〒435－0006 浜松市東区下石田町951　☎(053)422－7800
（総合健診センター）　〒426－8638 藤枝市善左衛門2－11－5　☎(054)636－6460
発行責任者　石黒　滿　　印刷　松本印刷㈱

新型インフルエンザ

県西部浜松医療センター
副院長　兼　感染症科長　矢野邦夫

新型インフルエンザウイルス（H1N1）が2009年3～4月頃にメキシコで発生して以来、このウイルスは瞬く間に世界に拡散していった。当初は高い死亡率を示したため、日本では厳重な封じ込め作戦が空港などで展開されていた。しかし、死亡率が季節性インフルエンザと同程度であることが判明してからは、感染対策は見直されていった。ところが、8月下旬に日本に死亡者が発生して以来、感染者の数は急増し、大流行がはじまった。

［症状と感染経路］

新型インフルエンザの症状は毎年流行している季節性インフルエンザと似ていて、発熱、咳、咽頭痛、体部痛、頭痛、悪寒、倦怠がみられる。下痢や嘔吐の人もいる。基礎疾患があると重症化する（表1）。感染力は発症1日前から発症後7日までみられ、発症してから3日間は感染力が強い。

インフルエンザは感染者が咳やクシャミをしたときに飛び出してくる飛沫を吸い込むことによって、または飛沫が目の結膜などの粘膜に付着することによって感染する（図1）。ドアノブなどに付着しているウイルスに手指が触れて、その手指が結膜などに触れても感染する。従って、感染予防は「飛沫に曝露しない」と「手洗いする」ということになる。

［タミフルと解熱剤］

現時点で、新型インフルエンザウイルスはタミフル®やリレンザ®に感受性があり、治療や予防において、これらの薬剤が用いられている。しかし、実際に使用するときには様々な問題に遭遇する。例えば、「妊婦や1歳未満の幼児が内服しても大丈夫なのであろうか？」という問題である。

妊婦や幼児への投与については安全性が確認されていないことから、日本ではこれらの人々への投与は積極的ではない。副作用を恐れてのことである。しかし、幼児や妊婦は新型インフルエンザに罹患すると、重大な合併症が発生するハイリスク集団であることを忘れてはならない。

過去のパンデミックインフルエンザや季節性インフルエンザにおける妊婦での研究によって妊婦のインフルエンザは重症になりうることが指摘されている。多くの妊婦は合併症なく経過するものの、一部の妊婦では急速に進行して、肺炎などを合併する。一方、タミフルやリレンザを使用した妊婦において有害事象（註：薬剤を使用した人にみられるあらゆる好ましくない医療上のできごと。必ずしも薬剤との因果関係が明らかということはない）がいくつか報告されているものの、薬剤との関連性については確定されていない。従って、妊婦はタミフルやリレンザの禁忌と考えるべきではない。妊娠中の発熱は胎児の神経系障害の危険性を増加させるので、タミフルなどを使用してインフルエンザの罹患期間を短くするとともに、早期に解熱させなければならない。妊婦では安全性を鑑み、アセトアミノフェンがベストな解熱剤として推奨される。

小児はインフルエンザの罹患率も死亡率も高く、5歳未満では合併症が多い。年齢が下がってゆくとさらにインフルエンザの合併症の危険性が高まり、1歳未満の幼児はハイリスクと認識されている。そして、生後6ヶ月未満では合併症のリスクが特に高い。このようなことから、治療としてはタミフルが生後3ヶ月未満も含めた全年齢に推奨され、予防内服としては生後3ヶ月以上の年齢に推奨される。

発熱すると解熱剤を希望する人は多いが、服用するならばアセトアミノフェンまたはイブプロフェンが適切である。アスピリンはインフルエンザの小児や10代の人々には投与してはならない。ライ症候群とよばれる稀ではあるが重大な疾患を引き起こすからである。

表1. インフルエンザ合併症のハイリスク集団

- 5歳未満の小児
- 65歳以上の人
- 長期のアスピリン治療を受けていてインフルエンザウイルスに感染したあとにライ症候群になる危険性のある小児および青年（18歳未満）
- 妊婦
- 喘息・他の慢性呼吸器系・心臓血管系・肝臓系・血液系・神経系・神経筋肉系・代謝異常（糖尿病など）のある成人と小児
- 免疫抑制のある成人と小児（薬剤による免疫抑制やHIVなど）
- ナーシングホームおよびその他の慢性ケア施設の居住者

［肺炎球菌ワクチン］

インフルエンザに感染すると細菌性市中肺炎に罹患しやすくなる。20世紀のパンデミックにおいては、二次性細菌性肺炎が重症化および死亡の主要な原因であり、肺炎球菌が最も頻度の高い病因であった。従って、インフルエンザに罹患したときに、肺炎を合併する危険性の高い人々（65歳以上、心臓呼吸器系疾患を合併している人など）は肺炎球菌ワクチンを接種するのが望ましい。

米国における65歳以上の人々の肺炎球菌ワクチンの接種率は白人では60％、黒人およびヒスパニックでは40％程である。日本では肺炎球菌ワクチンの助成がある自治体はあるものの、その接種率（約5％）は米国には到底及ばず、ワクチンについての医療従事者および国民の関心が低いことが浮き彫りとなっている。新型インフルエンザの第2波に向けて、肺炎球菌ワクチンの接種率を上昇させる必要がある。

［新型インフルエンザ感染者の職場復帰や登校許可のタイミング］

新型インフルエンザに感染した人々はいつ職場復帰してもよいのであろうか？いつ学校に登校してもよいのであろうか？他の人々への感染を防ぐために、一般の人々は解熱剤を使用しない状況で、解熱してから少なくとも24時間が経過するまで、自宅で養生するのが望ましい。タミフルやリレンザを使用すると発熱期間が短縮されるが、自宅養生の期間はこれらの使用の有無によって変わることはない。

一方、医療従事者は「発症後7日間」または「症状消失後24時間」のどちらか長い方の期間は出勤してはならない。インフルエンザに罹患した場合に合併症を併発する可能性の高い人々が多数入院している医療機関では当然のことながら、条件は厳しくなる。医療従事者がタミフルやリレンザを使用すれば発熱期間が短縮されるが、やはり自宅養生の期間の変更はない。例え、2日で解熱したからといっても、発症後7日は職場復帰することはできないことになる。

図1. 飛沫
咳やクシャミのときに飛び出す飛沫は最大2mの距離を移動する（米国疾病管理予防センターのホームページより）

第54回予防医学事業推進全国大会日程

◆日時　平成21年10月1日〈木〉
◆会場　「グランシップ」中ホール「大地」静岡市駿河区池田79－4

9：30	開場・受付	
10：00	開会	
	大会会長挨拶	財団法人静岡県予防医学協会　会　長　名波　登雄
	大会式辞	財団法人予防医学事業中央会　理事長　大谷　藤郎
	歓迎のことば	静岡県知事 静岡市長
10：20	感謝状贈呈･表彰式	
10：40	来賓祝辞	厚生労働大臣 文部科学大臣 日本医師会長
	次期開催支部挨拶	㈶長崎県健康事業団　理事長　蒔本　恭
11：15	学術講演	演題　「一人ひとりのがん対策」 講師　静岡県立静岡がんセンター総長　山口　建　先生
12：15	昼食･休憩	
13：15	講話	演題　「幸せの条件」　～より良い人間関係のために～ 講師　法相宗大本山　薬師寺執事　大谷　徹奘　先生
14：15	文化講演	演題　「自分の可能性を求めて」 講師　東京オリンピック･パラリンピック招致委員会 アスリート委員会　副委員長　成田　真由美　先生
15：15	閉会	

お問合せは財団法人静岡県予防医学協会総務課　電話 054－278－7716

年一回は健康チェックを！
健康はあなたの財産です
すこやかな明日のために

人間ドック
脳ドック

総合健診センター
ヘルスポート
〒426－8638　藤枝市善左衛門2－11－5
TEL　054－636－6460
FAX　054－636－6465
0120－39－6460